

城山エコミュージアム通信

平成30年(2018)1.15 第33号



エコミュージアムとは、エコロジー(生態学)とミュージアム(博物館)を合わせた造語で、その地域そのものが、生きた貴重な資料であるという考え方の下に、地域の歴史や文化、自然について学び、地域への愛着を深め、交流を深めていく活動です。相模原市城山エコミュージアムは、地域住民主体の活動により資料収集・調査等を行い、資料を現地において保存し、展示し、広く活用することを目的として活動しています。

地域紹介

向原

八王子千人同心・千人頭家の冠木門(かぶきもん)

相模川と境川に挟まれた広大な相模野台地は、その最西端で久保沢の谷に落ちて尽きる。その久保沢の谷に落ち込む手前の東の大きな畑地が向原である。その久保沢の崖に沿って、南北に高尾から大戸、久保沢を経て小倉の渡しにつながる古来大山みちと呼ばれた古道がある。途中向原の山王神社の交叉点から100mほど南に行くと一際立派な冠木門(かぶきもん)の門構えのお宅がある。左右の支柱に控え柱を設け、柱を結ぶ横木(冠木・梁)は重厚でその上に切妻の瓦屋根が門全体をズシリと覆い、その下の両開きの門扉が一層重厚さを際立たせている。現在の当主の高橋さんのお話では門の高さは武士が長柄(ヤリ)を持って通れる高さに作られていると言う。



高橋義和氏邸主門

この冠木門は八王子千人隊の最後の千人頭(かしら)の一人志村源一郎貞康家の門であり、八王子千人町の徳川幕府の拝領屋敷にあった。千人同心の規模は千人頭10人、各頭の下に組頭が10人、各組頭の下に9人の平同心が配され、総計は頭を含み千十人という組織であった。千人同心は半士半農と言われているが、千人頭は200~500石の旗本に遇され知行地も持っていた。戊辰戦争を経てご維新となり、慶応4年3月(1868)八王子千人隊は武装解除され、拝領屋敷は新政府に召し上げられるとともに、それぞれの進退を「朝臣」となるか「徳川家に随従」するかのを選択しなければならなかった。志村家は徳川家に随従し、家族共々静岡へ移住した(千人頭10家はすべて徳川家に随従した)。そうして主の無くなった冠木門は向原の高橋家に移築された。高橋家は川尻八幡宮(若宮八幡宮)の神主を司っていて、高橋壽麿(1877~1925・かずまる)の代に高橋家と志村家は姻戚関係となりそのご縁で高橋家に引き取られた。千人頭10家の門は関東大震災で更に八王子大空襲で破損・焼損し現在の高橋家の門が唯一のものとなり貴重な文化財となっている。(田中 次雄)



明治時代の川尻八幡宮の祭礼
(馬上の人が高橋壽麿宮司)

参考文献など:

千人のさむらいたち ~八王子千人同心~ 八王子郷土資料館
安西 勝氏の記事 かながわ歴史点描 昭和書院
当主・高橋義和さんにインタビュー



今回のトピック

- 地区紹介「向原」
- 城山検定「フコシャク」
- シリーズ養蚕「給桑」
- 身近な石造物 六地藏
- 城山エコミュージアムのつどいのお知らせ
- しろやまミニ図鑑「カシュウイモ」
- 活動報告、活動予定他



委員会では毎月の定例会で学習会を行っています

「地図の種類」

地図はとても便利なものですが、いつでも、どんな地図でも役立つとは限りません。目的に応じて正しい地図を使うことが大切です。

地図の種類としては、描かれる範囲、内容、目的の違いから、「世界地図」「日本地図」「都市地図」「地形図」「土地利用図」「住宅地図」「白地図」「道路地図」「鉄道路線図」「海図」「航空図」「登山地図」「古地図」「観光地図」「見取り図」「地球儀」…などです。

個人的な好みで言いますと、私の好きな地図は、鳥が空から地上を見下ろす状態を描いた「鳥瞰図」(ちょうかんず)です。ぜひ一度、本沢ダム(城山湖)の隣の雄龍籠山(おたつごやま)に登って眼下に迫るリアルタイムの関東平野の眺めを鳥の目になったつもりでご覧になってはいかがでしょうか!?(森久保 新一)



2017年11月 雄龍籠山から撮影

「東京家政学院大学学芸員課程館外実習ガイドツアー&学びの収穫祭」

9月6日(水)東京家政学院大学学芸員課程館外実習ガイドツアーを「境川源流域と原宿用水をたどる」というコースで行いました。大学生10名、先生2名とスタッフで大学から町田街道沿いの八木重吉記念館、境



川のピオトープ、下馬梅、川尻八幡宮まで。午後は原宿市跡から原宿用水をたどり、境川を渡って大学に戻りました。

大学生からは「地域の方々から様々な興味深い話を聞くことができ、とてもよい経験になった。」という感想があり、歩きながらの何気ない会話や道ばたの植物や昆虫、畑の作物の説明などもとても印象に残ったようでした。



さらに、11月18・19日に相模原市立博物館での「学びの収穫祭」にてガイドツアーの様子をまとめたものを展示発表しました。様々なジャンルの研究をされている方々と交流することができました。(金子 直美)

写真上:八木重吉記念館にて、学生に説明する委員
写真右:博物館にて、来場者に説明する委員



知ってナットク! しろやま



城山
検定

冬に活動する昆虫

冬に雑木林の中、落ち葉を踏みしめて木漏れ日の中を歩くのは夏とは違ってまた良いものですね。

そんな中、ときどき指先大の薄茶色のひらひら飛ぶ虫を見つけることがあります。それは冬に活動するフユシャクと呼ばれるガの仲間なのです。

では、フユシャクのメスの成虫はどのような姿をしているのでしょうか。

- ① オスとそっくりで見分けがつかない。
- ② オスとは似ていなく、とても美しい翅(はね)をもっている。
- ③ 翅が退化して、一見ガの仲間とは思えない姿をしている。
- ④ 幼虫のイモムシの形をしている。

第10回 蚕のエサ・桑について

城山地区ではおもに養蚕は、春蚕（5月中旬）初秋蚕（7月下旬）、晩秋蚕（8月下旬）の年3回、卵から繭までの飼育でした。給桑の回数は飼育に影響が多いので、適当にし（日に3～5回）、水気は大敵なので、朝露のない桑、夕摘みした桑を桑室に保管し給餌しました。桑の葉の取り方は、葉を桑爪で一枚一枚摘み取る方法、桑畑から小枝ごと取ってきたものを桑抜きでしごいて葉を落とす方法があります。



現在、日本で栽培されている桑の品種はおよそ千数百種類に及ぶといわれていますが、およそ、やまぐわ型（古くから日本に自生）、からやまぐわ型、ろそう型（中国、朝鮮半島などから渡来）の3型に分けられます。

春蚕には市平（やまぐわ型）・多古早生（からやまぐわ型）、初秋蚕には大葉早生、晩秋蚕には改良鼠返し（からやまぐわ型）を与えるなど、給餌にはきめ細かい配慮を求められました。

神奈川県では養蚕農家はなくなってしまいましたが、桑の葉の栄養成分が健康に役立つことに着目し、相模原市商工会議所女性会が、さがみの桑茶「とうとろん」を開発、相模原市の特産として発売しています。（田畑 房枝）

（参考：城山町史4資料編民俗、

一般財団大日本蚕糸会作成資料）



再発見



身近な石造物



六地藏

お寺や道端などで見られるお地藏さまの中には、6体がセットになった「六地藏」として祀られているものがあります。これは、仏教の六道輪廻の思想（すべての生命は6種の世界＜地獄、畜生、餓鬼、修羅、人、天＞に生まれ変わりを繰り返す）に基づき、六道それぞれを6種類のお地藏さまが救うとする説から生まれたものです。

城山地域内では、6体の地藏が並んだ六地藏（小倉、葉山島）や角柱の3面に2体ずつ彫られた六地藏（都井沢・向原など）、六角柱の1面1体ずつに彫られた六地藏（中沢、穴川）を見ることができます。（齋藤 雄也）

参考：『城山町史』資料編 民俗

写真は、穴川の明観寺にある六地藏

城山検定

解説



答え：③

正解は③です。図のようにメスには翅が見られず、卵でいっぱいのおなかで丸みを帯びた形をしています。

≫ おしりからオスを誘う臭いを出して、そのにおいに誘われたオスが飛んでメスを見つける仕組みになっています。

ほとんど、他の昆虫が活動をしていない冬に活動しているフコシャク、とても変わったガですね。（山口 雅之）

図 左側がオス、右側の翅がないのがメスです。



INFORMATION

「城山エコミュージアムのつどい」いよいよ開催！

<講演>

のろし

～狼煙を上げろ！～

津久井城アラカルト

開催日 : 平成30年2月25日(日) 午後1時30分～午後3時30分
受付 : 午後1時00分～

内容 : 【発表】活動紹介、事例紹介
: 【講演】講師 : 串川狼煙衆・郷土史家 守屋 浩之氏
・近頃話題の津久井城 ・徳川勢井伊軍との対峙
・狼煙ってなんだ！？などなど

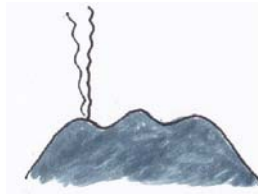
会場 : 城山公民館 2階 大会議室

対象 : どなたでもご参加いただけます。

当日会場へお越しください。(参加費無料)

企画運営 : 相模原市立城山公民館城山エコミュージアム委員会

問合せ : 城山公民館 ☎042-783-8194



今後の予定

- 城山エコミュージアムのつどい
2月25日(日)開催
- 城山公民館まつり
3月10～11日(土・日)
(展示参加)
- 城山エコミュージアムツアー
「津久井湖誕生」
～昔を探して今を歩く～
3月17日(土)
* 延期事業のため参加者決定済み

しろやま ミニ図鑑

カシュウイモ

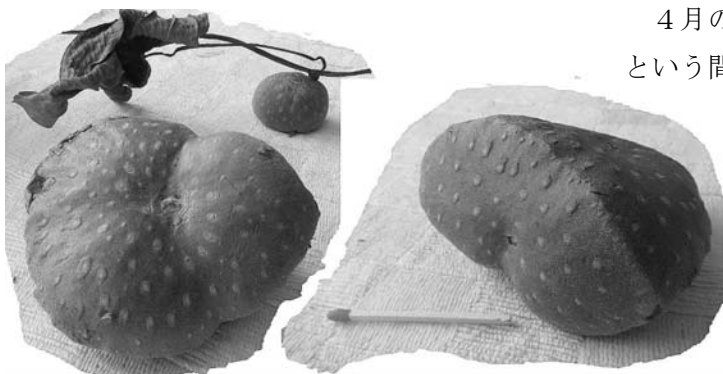
下の写真はヤマイモ科カシュウイモのムカゴです。大きなものは大人の握りこぶしほどになります。最近城山地区でも時々、栽培しているのを見かけるようになりました。

カシュウイモは、天空イモ、宇宙イモ、ソライモ、エアーポテトなど、さまざまな名前で呼ばれています。もちろん食べられます。ジャーマンポテト風な揚げ物がよいようです。

4月の中旬ころ、発芽したムカゴを植えると、あっという間に蔓が伸び、周りに絡みつきながら空に向かってぐんぐん育ちます。ハート形の大きな葉は空を覆うほど繁茂しますので、グリーンカーテンにいかがでしょう。(多羽田 啓子)

写真説明: 収穫したカシュウイモ

これは中くらいの大きさです、後方の小さいイモには蔓と葉もついています。



編集 後記

雨にたたられた今年のエコミュージアム活動。例年その年のハイライトになるはずの「エコミュージアムツアー」は台風の接近により中止になりました。小松川周辺で予定されていた「ホテル観察会」も雨のため行うことができませんでした。博物館とは異なり屋外で活動する機会の多い「エコミュージアム」の弱点は、その成否が天候に左右されることです。(佐々木 徹)

企画/作成 :

相模原市立城山公民館城山エコミュージアム委員会

発行 : 相模原市立城山公民館

TEL : 042-783-8194 【直通】
FAX : 042-783-1721

ホームページをパソコンで見るとは

相模原市 城山エコミュージアム

検索



相模原市立城山公民館ホームページ

http://www.sagamihara-

kng.ed.jp/kouminkan/shiroyama-k/index.html